

農産物品評会等の褒賞授与



昨年11月に行った大磯ふれあい農水産物まつり2006農産物品評会及び各種立毛・経営管理共進会の平成18年度の褒賞授与式を2月5日(月)に行いました。

農産物品評会では出品総数210点のうち、80点が入賞しました。優秀賞は次のとおりです。
(順不同・敬称略)

【農産物品評会】

- ▼大根 熊澤 廣子
- ▼キャベツ 柳田 静枝
- ▼きゅうり 柳田 幸代
- ▼ブルッコリー 熊澤 憲
- ▼さつまいも 仲川 登喜枝
- ▼たまねぎ 府川 金久

【各種立毛・経営管理共進会】

- ▼みかん 土方 俊一
- ▼柿 松本 栄次
- ▼農産物加工品(梅干) 熊澤 智恵美
- ▼生しいたけ 近藤 達夫
- ▼優良系統みかん 杉山 美穂
- ▼柿 渡邊 敏文
- ▼深ネギ 渡邊 敏文
- ▼柿 小澤 猛夫

◎問い合わせ

経済観光課 内線263

こんにちはは保健師です

143

「子どもの気持ち」

〜自己肯定感〜

保健師という職業でありながら、自分の子どもに「ママも怒らないでよ〜今日は3回怒ったよね〜」などと言われてしまうことがあります。そんな時は「たいした事じゃなかったのに、また怒ってしまった〜」と反省します。

子どもに怒ってしまふ時、どんな状況(心境)だったのか：振

り返ると、ほとんどが「気持ちに余裕がない時」です。出掛ける前で時間がない、家事が思うように進んでいない、自分は眠いのに、子どもがなかなか寝ないなど…。みなさんはどうですか？

また、そういう時、子どもはどんな気持ちだったのか想像すると、「自分の気持ちを分かってくれたい！」と感じていたのではないのでしょうか。

育児相談の中で、子どもが言うことを聞かない時や、かんし

やくを起こす時などは「まずは子どもの気持ちを想像して、言葉にしてあげてください。」とアドバイスすることがあります。例えば、お店で子どもが買つて欲しい物をねだる時、一方的に「今日は買わないって言ったでしょ!」と言ってしまふとますます言うことを聞かなくなり、お母さんが「おいしそうですね。食べさせてみたくね〜」でもお家に他のお菓子があるから今日はやめておこうか〜」などと言つてみるとあきらめてくれることがあります。もちろん、いつもすんなりいくとは限りませんが、まずは子どもの気持ちを分かっ



てあげる姿勢が大切なのだと思います。子どもが幼いうちから育ててあげたい気持ちの一つに「自己肯定感」があります。それは、

「自分は大切な存在だ。必要とされている」と感じる気持ちです。自分の気持ちを理解してもらえた心地良さ、安心感を得ることが大切で、それが子どもの自信となり、生きる力となっていきます。

余裕がない時、子どもの気持ちを理解しようとするのを忘れてがちですが、まずは一呼吸して「どんな気持ちなのかな?」と考えてみることを習慣にできるといいですね。子育て中の皆さん、お互いがんばりましょう。

◎問い合わせ 子育て介護課

山下 内線308

平成18年度 店舗コンクール

審査結果

2月8日(木)に実施した平成18年度大磯町店舗コンクール入賞店は、次のとおりです。

▶優秀賞



・『ル・ビストロ・ノーブル』 (飲食業/東町)



・『Hair・Make TEAR DROP』 (美容業/大磯)

▶優良賞

- ・『壱の屋』(小売業/国府本郷)
- ・『レストラン風月』(飲食業/大磯)
- ・『クロダイ屋釣具店邦丸』(小売業/大磯)

◎問い合わせ 経済観光課 内線264